厚生労働省
大分労働局

Press Release

令和８年 11 月 26 日
【照会先】
大分労働局 労働基準部
健康安全課長　阿部　　敬
課長補佐　原田　英一
電話　０９７-５３６－３２１３

報道関係者　各位

「年末年始無災害運動」が始まります

～ 年末年始　はやる気持ちに一呼吸　家族の顔を思いつつ ～

大分労働局（局長 秋山 雅紀）は、令和８年 12 月１日から令和９年１月 15 日までの期間、「Safe Work OITA 令和８年度年末年始無災害運動」を展開し、大分県内における年末年始の労働災害防止に取り組みます。

１　趣旨

大分県の過去 20 年の死亡労働災害をみると、年末年始に 60 人が亡くなっており、１年の中で 12 月が最も多くなっています。（詳細は別添参照）

年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増大します。そのため、各事業場においては、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの順守、非定常作業における安全確認の徹底などに全員で取り組むことが一層重要になります。

そこで、本年度の年末年始無災害運動は、「年末年始　はやる気持ちに一呼吸　家族の顔を思いつつ」をスローガンとして展開します。

２　実施期間

令和８年 12 月１日から令和９年１月 15 日まで



３　実施者

県下事業場、労働災害防止団体、
事業者団体、公共工事発注機関

４　大分労働局、労働基準監督署の実施事項

（１）労働局長による安全パトロール
（12 月３日、別府市で実施。別途発表予定）
（２）労働災害防止団体、 事業者団体、
公共工事発注機関に対する文書要請
（３）労働災害防止団体等との合同安全パトロール
（４）ホームページ 、報道機関等を通じての周知
（５）リーフレット 、のぼり（右）等の頒布
（６）集中的な監督指導、安全パトロール

（別添「年末年始無災害運動実施要領」参照）

Safe Work OITA　令和８年度

厚生労働省 大分労働局

年末年始無災害運動実施要領

1 趣旨

大分県内における労働災害は長期的には減少しているものの、近年は増減を繰り返しながら増加傾向にある。

本年10月までの労働災害発生状況をみると、死亡者数は９人（前年同月比５人増）、休業４日以上の死傷者数は1,030人（前年同月比122人増）となっており依然として増加傾向にある。

こうした状況の中で、特に年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増すことになる。

大分県の令和７年度の年末年始期（R7.12.1～R8.1.31）の労働災害の発生状況を見ると、死傷者数は218人（製造業31人、建設業37人、第三次産業109人、その他41人）となった。さらに、大分県で過去20年間に発生した死亡労働災害を月別にみると、12月が最も多く33人が犠牲になっている。（裏面のグラフ参照）

年末年始は、各事業場において、非定常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施、感染症予防を含めた労働者の健康状態の確認などに労使一体となって取り組むことが、より一層重要となる。

このような状況を踏まえ、本年度の年末年始無災害運動は、

年末年始　はやる気持ちに一呼吸
家族の顔を思いつつ

を標語として展開することとする。

2 実施期間

令和８年12月１日から令和９年１月15日まで

3 主唱者

大分労働局

4 実施者

県下の事業場
県下の労働災害防止団体



5 主唱者の実施事項

1. 労働局長による安全パトロール
2. 労働災害防止団体、事業者団体、公共工事発注機関に対する文書要請
3. ホームページ、報道機関等を通じての周知リーフレット、のぼり等の頒布
4. 集中的な監督指導、安全パトロール

6 労働災害防止団体の実施事項

1. 本運動の会員事業場への周知、徹底
2. 各種労働災害防止用リーフレット、のぼり等の配布
3. 安全大会の開催や安全パトロール

7 事業場の実施事項

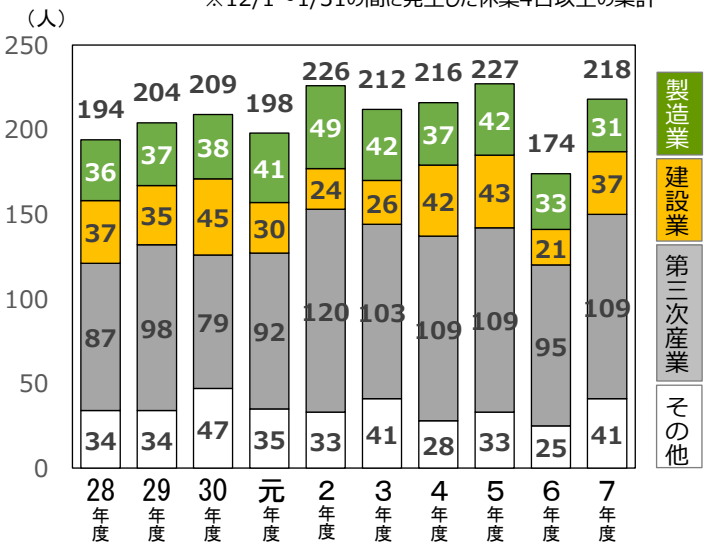
1. 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
2. 安全衛生パトロールの実施
3. 機械設備に係る一斉検査及び作業前点検の実施
4. 年末時期の大掃除等を契機とした4Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
5. 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
6. 年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示
7. KY（危険予知）活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策の徹底
8. 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表現等の点検と整備・更新
9. 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
10. 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
11. 火気の点検、確認など火気管理の徹底
12. 交通労働災害防止対策の推進
13. 働く全ての人が過重労働をしない・させない職場環境づくり
14. 高年齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣（睡眠、食事、運動等）に関する健康指導などの実施
15. 個人事業者等に対する労働災害防止対策の実施
16. 感染症拡大防止対策の徹底
17. 職場のハラスメント防止につながる取組の推進
18. 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
19. 安全衛生旗の掲揚、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施

大分県の労働災害発生状況

※出典は労働者死傷病報告及び死亡災害報告。
※新型コロナウイルスり患者を除く。

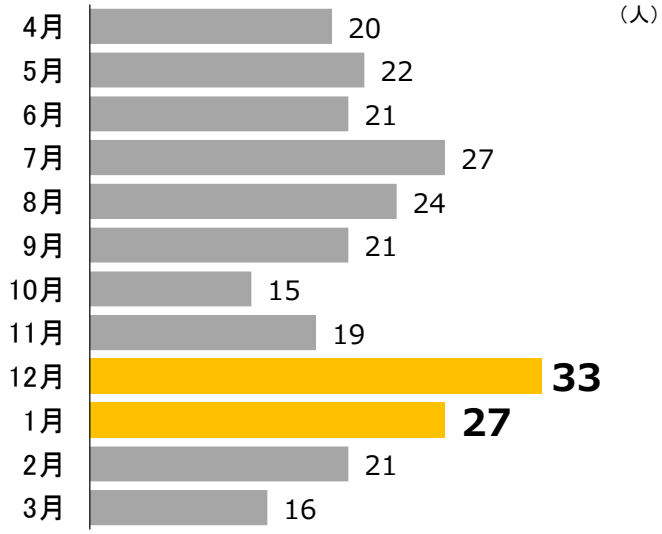
過去10年 年末年始の労働災害｜全産業

※12/1～1/31の間に発生した休業4日以上の集計



☞ 年末年始期の死傷者数は、増減を繰り返しています。
☞ 令和７年度は前年度比で44人増加しました。

過去20年 月別死亡労働災害｜全産業



☞ 過去20年の年末年始期間中、労働災害により**60人**が亡くなっています。
☞ 12月は1年の中で、最も多くの死亡労働災害が発生しています。

令和８年 死亡労働災害一覧｜全産業

※令和８年11月10日現在

No.	発生月 / 時間帯 / 業種	性別	職種	経験 / 事故の型 / 起因物	災害発生状況
1	1月 / 15時台 / 建設業	男	建設作業員	3か月 / 墜落 / 屋根、はり	木造２階建て建物の解体工事現場において、２階屋根瓦の撤去作業を行っていたところ、8.3m下の地面に墜落したもの。
2	2月 / 2時台 / 清掃・と畜業	男	運転者	6年 / 交通事故 / トラック	産業廃棄物収集のためパッカー車を運転していたところ、赤信号を無視したトラックに衝突されたもの。
3	3月 / 11時台 / 製造業	男	作業者	2年 / はさまれ、巻き込まれ / コンベア	ベルトコンベヤーの空転を解消するための作業中、回転中のヘッドプーリーに身体の一部が接触し、全身がベルトコンベヤーに巻き込まれたもの。
4	4月 / 14時台 / 建設業	男	建設作業員	15年 / 飛来、落下 / 基礎工事用機械	移動式クレーンに杭打機を取り付けて土留親杭を打設中に、杭打機のモーターにワイヤロープが巻き付いて切断され、落下したフックブロックに激突されたもの。
5	4月 / 8時台 / 建設業	男	畜産従事者	2年 / 激突され / その他の環境等	牛舎内の清掃作業のため、牛を移動させていたところ、牛に激突され金属製の柵の間に挟まれたもの。
6	7月 / 16時台 / 建設業	男	建設作業員	42年 / 墜落 / 脚立・はしご	空調機器設置工事において、脚立を用いて配管ダクトの取付作業を行っていたところ、1.9m下の地面に墜落したもの。
7	8月 / 8時台 / 林業	男	林業従事者	50年 / 飛来・落下 / 架線集材機械	架線集材装置を用いて集材作業を行っていたところ、ウインチロープを固定していた金具が破損、飛散して突き刺さったもの。
8	8月 / 9時台 / 林業	男	林業従事者	8年 / 激突され / 立木等	立木の伐倒作業に従事していたところ、かかり木に激突されたもの。
9	9月 / 13時台 / 建設業	男	建設作業員	35年 / 高温・低温の物との接触 / 建築物、構築物	配管の取替工事において、熱水の流れる排水溝に転落し、全身やけどを負ったもの。

セーフワークおおいた　令和8年度

年末年始
無災害運動

年末年始　はやる気持ちに一呼吸
家族の顔を思いつつ



2026.12.1～2027.1.15

大分労働局
労働基準監督署